

平成20年度第5回市民参加及び協働推進市民懇談会会議録

日 時 平成20年11月13日(木) 午後7時～8時50分
場 所 市長公室

出席者

市民懇談会委員

長島委員長 川原副委員長 荒田委員 有賀委員 岩田委員 小淵委員 加光委員
倉原委員 小寺委員 横田委員

事務局<協働推進課>

浅野課長 山岸副課長 林

傍聴者なし

内 容
1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 内 容 (1) 調査結果報告 市民参加及び協働事業の状況について <事務局> ・「平成20年度市民参加・協働に関する取組み調査結果について(報告)」を基に概要を報告した。詳細な内容別結果一覧は、各自で目を通してもらうよう依頼した。 <委員> ・報告書のまとめにある「協働相手の役割分担や責任所在の明確化、マニュアル作成、事業を多角的に評価するための仕組みづくり」は、ぜひ定めてほしい。 審議会等の設置状況について <事務局> ・平成20年10月1日現在の「審議会等の設置状況一覧」を基に概要を報告した。 <委員> ・昨年度の調査時点以降で改選した審議会はどれくらいあるか。 調査し後日報告する。 (2) 自治基本条例の見直しについて

見直しに関する提言書の最終確認について

- ・前回会議で出された意見により修正した提案書について諮ったところ、異議なく了承された。

自治基本条例の啓発リーフレット（案）

< 委員 >

- ・表紙を見たら何を言いたいリーフレットなのか一目でわかるような工夫がほしい。具体的な表現で、例えば「自治基本条例ってなんですか」を入れてはどうか。
- ・印刷物を作成するときは、読み手の対象を想定することから始まる。このリーフレットは次代を担う中学生にも読みやすいものにしたらどうか。
- ・今回は大人の一般市民向けとし、今後の課題として中学生向けを考えていったらどうか。
- ・表紙にはいろいろな文字を入れないほうが手にとりやすいのではないか。
- ・中面の市民、市議会、市役所イラストを写真に変えられないか。
- ・イラストを大きく明るくするとイメージがかわるのではないか。
- ・中心に基本原則を置き周りに市民、市議会、市の3者を配したのはわかりやすい。
- ・文字フォントに統一性がほしい。
- ・裏表紙のQ & Aはこの4項目で良いと思う。Qを太文字にして文字間をあけたほうが読みやすい。
- ・条例構成の「市政の運営」欄の文字配置は左右のバランスを考えたほうが読みやすい。
- ・前文は条例の趣旨をわかりやすく表しているので、全文を入れたらどうか。

< 事務局 >

- ・委員提案事項を考慮し、再度作成して提示する。

自治基本条例の解説書（案）

< 事務局 >

- ・平成16年度に作成された解説書に、懇談会で出された意見を反映し変更した。（アンダーライン部分）

< 委員 >

- ・一般市民には馴染みのない言葉を理解してもらうには、まだ分かりづらい。
- ・センテンスが長すぎるので全体的なスタイルを再考したらどうか。
- ・前文の「日常生活を安全に、快適に送ることができ」という説明がどこにも出てこない。
- ・安心安全という視点での条項は設けていない。
- ・第13条「市民意見提出手続」はパブリックコメントと同義語か。

パブリックコメントという用語は国が既に使用しており一般的になっている。ここでは一般的なパブリックコメントの意味のうち市民意見提出手続である旨を表している。解説は、「本条は、市民意見提出手続いわゆるパブリックコメント～」とす

る。

・リーフレットを見て関心を持った市民が解説書を見るという段階を踏むと思うので、概ね良いのではないか。

・わかりやすさ、馴染みやすさを念頭に各委員から事務局へ意見・提案を提出する。

次回懇談会は来年1月を予定していたが、再検討する時間を持ちたいので2月に延期していただきたい。

(3) 市長への提言書の提出について

平成20年11月21日(金)午後3時から1時間程度 市長公室

出席委員： 長島委員長 小淵委員 横田委員

(4) その他

・市民参加協働庁内委員会(12月16日)において、長島委員長が提言書について報告をする予定。

次回会議の日程 平成21年2月12日(木)午後7時から 市長公室

4. 閉会 副委員長